こんにちは 中根さちの ハーフレター

2013. 11. 24
NO. 366

日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース

県議会控室 823-9524 高知市 丸の内1-2-20
自宅 872-9324 高知市 福井町1475-3

土電問題 いよいよ問われる 社会的道義的責任

元会長・西岡自民県議

82件、347万円余

土佐電鉄が内部調査をしたところ、土電名で82件347万9600円の領収書を発行し、西岡議員に渡した事実が明らかになりました。西岡県議のいうままに領収書を発行する土電の責任も重大。県議会の究明責任が問われています。

元土電会長で暴力団に強い影響のある元暴力団組長の名札を見せたことが明るみに出て会長を辞任した西岡県議。

こんどは、元暴力団組長の墓参に県議の調査費を使用した上、土電からも費用を出させていたことがわかりました。

次々と声が上って。

(赤旗日刊紙より)

特定秘密保護法案はとんでもない!

高知県内の著名人6氏が14日、高知市内で記者会見を開き、「秘密保護法案、国家安全保障会議設置法案に反対の声明を発表しました。

声明文は「特定秘密保護法案と国家安全保障会議設置法案は集団的自衛権を認め、自衛隊が海外でアメリカと一体となって戦争する体制作りの一環」(同法は)国民の知る権利、報道の自由、ひいては集会、結社、言論の自由の制限につながる危険性がある」と指摘し、ここに私たちの意見を表明すると同時に、国民、県民的議論をよびかけるものです」としています。

声明文は各政党や政府に送付しました。

県内著名6氏 法案反対の声明

高知

「戦争する国づくりにつながる特定秘密保護法案、国家安全保障会議設置法案に反対する声明」を発表したのは以下の6氏(敬称略)。井堀政利(県生活協同組合連合会会長)、大崎博愛(元県教育長)、梶原守光(弁護士・元県議)、川添義明(元県議)、五島正規(元衆院議員)、根小田渡(高知大学名誉教授)。

11/12日 県と懇談

県内自治体を訪問し、懇談をかさねてきた高知県社会保障推進協議会と県高令者運動連絡会が主催する全県キャラバンと、高知県との懇談が12日、行なわれました。さまざまな要望が出されましたが、その中のいくつかを紹介します。

。無保険をなくしてほしい ー県の回答は ー

「会社をやめる際に、協会けんぽから連絡とれないかを協議・検討中。」

。特養ホーム増設を ー県の回答は ー

「待機者は3160人、そのうち在宅の人は655人(昨年11月)となっている。来年度までに967床を整備するようすすめている。」

。こどもの医療助成を中学卒業まで。 ー県の回答は ー

「県内26市町村が実施している。国に義務教育無料化の要望を続けていく。」と。

これからも運動を続けましょう!!

くらしと医療を守る全県キャラバン

てくてく歩記(わたしの) (363)

師走の足音が近づいてきました。何だか忙しいし、気ぜわしいですね。

そんな中、地域をごあいさつして歩いていると、みごとな花々が咲きみだれているのに出合って楽しんだり、井口町で出あったりっぱな皇帝ダリアは、いつか皆さんにお見せしたいし、北竹島町の市営住宅の花だんは、コスモスや菊の花が少し寒くなった風にゆれてとてもきれいです。

宅の庭にも、父が好きでふやしていたしゅうめい菊がきれいに咲きました。